

おーぷん

社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぷん第94号 2023夏』

発行: さざんか会法人本部 / 船橋市行田 2-8-1 / ☎047-404-1135

編集: おーぷん編集委員会 / けいよう / 船橋市二和西 5-10-1 / ☎047-411-8177

日本国憲法の第十一条は、「基本的人権」として「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる」とあります。私たちは、この国において人として社会に存在する限り、基本的人権を持っているのであり、それはいかなる場合も決して侵害されることなく、尊重されなければならない、とでも解しましょうか。男女であるとか家柄であるとか、貧富で



あるとかによって差別されたり、誹謗中傷を受けることがあつてはならない、とも理解できるのではと思います。

障がいのある人たちは長い間、差別や偏見に曝され、正に基本的人権を侵され続けて来ましたが、国連は世界的規模で障害のある人たちの人権の確認とその擁護についての作業を進めました。結果作成されたのが「障害者権利条約(以下「条約」とする)」であり、二〇〇六年に国連総会で採択され、二〇〇八年五月に発効しました。この国は二〇〇七年に署名しています。また、条約の締結に向けて国内法の整備が図られました。「障害者基本法」の改正が二〇一一年に、二〇一

「障害者権利条約に向う」

社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代 隆治

おーぷん 94号目次

P1 「障害者権利条約に向う」

理事長 宮代隆治

P3 北総だより

- ・北総育成園
- ・笹川なすな工房

P6 令和5年度 船橋圏内新任職員研修

P7 各事業所夏だより

- ・とらのこキッズ
- ・さざんかキッズ
- ・けいよう
- ・カメラアハウス
- ・のまる
- ・グループホーム
- ・ゆたか福祉苑



二年には「障害者総合支援法」の施行、翌二〇一三年には「障害者差別解消法」が施行と様々な法整備が行なわれ、二〇一四年の批准を迎えました。

この条約作りには、世界各国から大勢の障がい当事者が参画しました。正に「私たち抜きに、私たちのことを決めないで」です。「障害」或いは「障害者」を医学モデルの視点で捉え、憐憫や救済の対象として見なし、障害施策の根底にこの価値観を置くと、当事者の意思の扱いは軽くなってしまいます。ずっと昔、私がこの仕事に就いた頃の障害施策全体がこのようなものでした。この時代背景下、侵された人権を取り戻し、障がいの有無に関らず人皆平等を訴える当事者の自立運動も開花しました。



例えば、一九八一年は「国際障害者年」でした。「完全参加と平等」を掲げ、ノーマライゼーション思想と運動の展開が世界的に図られました。国連の権利条約の作成と全世界的批准はこのような流れの中にあるもの、と認識します。

さて、条約締結国は自国において条約に基づく義務の履行状況やもたらされた進歩について、国連に報告しなければなりません。その報告を受け、国連の障害者権利委員会が審査を行います。その審査結果について、委員会は総括所見としてその国の政府に対して勧告を行います。この国も、昨年始めて審査を受け、総括所見が出されました。総括所見全体は多岐に亘りかなりのボリュームになっていますが、その中のいくつかを見てみます。

の選択は障がいの者の権利であり、特定の生活様式を強いることは権利侵害に該当する。



“教育”に関しては、「国の教育政策、法律及び行政上の取り決めの中で、分離特別教育を終わらせることを目的として、障害のある児童が障害者を包容する（インクルーシブ教育）を受ける権利があることを認識すること」と。分離を前提とした特別支援教育を受ける子どもたちが、大勢居ることへの警告と受け止められましょうか。

“身体的自由及び安全”に関して「障害者の非自発的入院は、自由の剥奪となる、機能障害を理由とする差別であり、自由の剥奪に相当するものと認識し、主観的または客観的な障害又は危険性に基づく障害者の非自発的入院による自由の剥奪を認める全ての法規定を廃止すること」と。本人の同意のない強制入院は止めるべき。そして、次の勧告は東京都下の精神病院で起きた凄惨な虐待事件を暗示していた

ようです。「精神科病院における、残虐で非人道的また品位を傷つける取り扱いを報告するために利用しやすい仕組み及び被害者への効果的な救済策を設け、加害者の起訴及び処罰を確保すること」。

今すぐ、障がい者を巡る環境の全てが総括所見にあるような、条約を遵守したものととして整えられる、それはなかなか難しいことと言わざるを得ませんが、向かうべき方向は明瞭に示されたようです。

当法人は「真の共生社会の実現」に寄与することを運営の理念として掲げて来ました。そのためには、障がいのある人たちの「意思」を尊重することが何より大切です。今ある障がいのある人たちがを囲む環境も、条約に則って整えられなければ、と思えます。そこに向かう私たちの姿勢、本気度が益々試されましょう。

世界標準



北総の里だより

北総育成園

「この人達と楽しむこと、笑うこと、大切にしたいこと」～余暇活動の取り組み

支援主任 米川洋平

この3年間は感染症の流行により、今まで毎年利用者さんの大きな楽しみであった夏のビアガーデンや新年会・忘年会・旅行などの行事が次々と中止となつてしまいました。また日中の余暇活動も制限されることが増え、「外出いつ?」「来月の行事は?」と毎月聞いてくる方が何人もいました。それに対して「来月も楽しい行事があるから作業頑張ろうね」と見通しがみえる回答ができれば良いのですが、職員も先が見えないため「もう少し我慢しようね」としか返せないことは辛いことでした。

それでも今できる余暇活動を工夫しようと、ベテラン職員・若

手職員みんなにアイデアを募り園全体で考えてきました。皆の願い事を書いた七夕飾りを居室に飾ったり、クリスマスには、サンタやトナカイの仮装をした職員が各クラスを回ってプレゼントを渡す等、季節を感じるイベントを色々工夫しながら、小規模で実施しました。



感染対策の為全員集まつての大きな行事はなかなか実施出来ませんでしたが、皆さん笑顔で参加してくれ、館内での生活が長くなる中では良い気分転換の時間になったと思います。

ようやく去年の7月にはピロティで「第1回北総夏祭り」を開催。久しぶりの大きなイベントということで、感染対策を徹底しながら皆で楽しめる企画を考えました。結果、夏祭りは大成功利用者さんも普段の生活では見せない明るい表情を見せてくれました。今まで我慢の多い生活が続きましたが、行事に笑顔で参加する姿を見ていると「この行事をやって良かった」と心から思えました。この2年間は感染症の不安も大きく、職員も全員が前向きに取り組めた訳ではありませんでした。しかしその中で参加した職員から「楽しかった」「良い行事だった」と言っ



(昨年度の夏祭りの様子。今年も楽しい祭りを企画中です)

てもらえたことは、余暇部会チーフとしては、何より嬉しかったことでした。

夏祭りをきっかけに11月に館内でハロウィンをテーマに秋祭りを開催、3月に副園長の提案でキッチンカーを呼んで、出来立ての今川焼やお団子を食べて楽しむことが出来ました。外部の情報も取り入れながら、色々な形の行事運営を考え余暇活動の幅を広げていきました。現在7月19日に「第2回北総夏祭り」を企画中で、キッチンカーやカラオケ大会などを予定しています。大勢の前でカラオケする機会もなくなっていたので、今回は皆で盛り上がる楽しい時間にしていきます。

余暇活動が制限された3年間、利用者さん、職員共に大変な思いをしました。だからこそ、余暇活動が皆さんの大切な活力源になっているのだと改めて気づかされました。

高齢の利用者さんも増え、以前と同じには出来ないけれど、「出来ないこと」を嘆くばかりでなく、これからも職員が力を合わせて「今出来ること」を工夫し、考え、笑顔で楽しめる行事を今後も企画していきたいと思えます。さあ、皆さん、思い切り笑顔で楽しみましょう！



(3月のキッチンカー、今川焼やチョコロスなど美味しく楽しみました)



(園芸班作業、皆で花苗を運び、花壇に植えます)

笹川なずな工房

「五感で楽しむ NAZUNNAの夏」

圓城寺 円

6月はもう夏ですね。香取郡東庄町笹川、笹川なずな工房の前面は、さえぎるもののないオーシャンビューにも勝る田んぼビューが一面に広がります。側面には山があり、まさに自然に囲まれた立地の中にある通所施設です。私自身も勤続させて頂き15年以上が経ちますが、ここ最近、改めて恵まれた環境の中で仕事をさせて頂いていると感じます。なずな工房には、人の五感を楽しませてくれる要素が沢山あります。私の主観と自己満足でいくつかご紹介させていただけます。五感には、見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れるといった要素があります。五感を刺激してくれる良いシチュエーションをいくつか発表させていただきます。

まずは各作業棟についている外換気口からの匂いです。なずな工房には作業の特徴から沢山の「匂い」があります。それを一番に感じられるのが外換気口なのです。工房周りや作業棟の建物周りで作業をしていると、換気口から良い匂いがプンプンとしてきます。手作り昼食で心を込めて作って下さるみんなのおふくろ厨房からは、食欲をそえられる何かを炒めている音やザクザクザクと心地よい千切りのリズム、ニンニク系の匂い、今日の昼食は何だろう？と想像を掻き立てられ作業モチベーションが上がります。



毎日、時間や製造量と戦うパン班からは、焼き立てパンの香ばしい香りやバターの匂い、毎週水曜日の昼食はパン食と決まっております。焼きたてパンを味わう事ができます。なかでも、外はカリカリ、中はサクサクのクロワッサンが個人的に焼きたて感を一番味わう事ができおススメ。



夏場の時期のジャム製造は暑さとの戦い。額に汗、飛び散るジャムと戦う加工班からは、いちごジャムを作っているあま〜い匂いが。東庄の名産でもあるアイベリー苺を100%使用、グラニュー糖と生絞りレモン果汁で仕上げた贅沢なジャムです。食パンとの相性は抜群、素材で勝負のシンプリズベストな組み合わせです。

農産班の、午後からの活動の一つでもある、田んぼ周りのウォーキングもその一つです。利用者さんと一緒に心を無にして歩いていると、静けさの中から聞こえてくるのは鳥のキレイなさえずり、田んぼ一面の緑、山の濃いみどり、空の水色、雲の白、心地よい風、そんな自然のBGMや風景、風を体感する事ができる、なすなウォーキングは格別です。



なすなウォーキングで心身リフレッシュ

工房の目の前には、実りを楽しむ畑という目的で命名された実楽（みらく）畑があります。畑に転換してまだ年数は浅いですが、収穫が待ち遠しいブルーベ

リーの他、昼食材料および、販売も見据えて植え付けた夏野菜があります。畑仕事で土に触れ、汗をかき、収穫を楽しみ、皆で食べる。たとえ少しであっても、自分達で食べるもの、使うものを自分達で育てる。食の大切さや、田舎のおかあちゃんの教えも大切にしながら、畑仕事を通して土や作物と触れる事も支援の一つとして大切に考えています。



実楽（みらく）畑で生育中のブルーベリー

私も自然やたくさんの方の五感に触れ、体を動かして勤務に入っている平日は不思議と疲労感が少ないのに対して、エアコンの効いた部屋で、スマホ片手に横になりダラダラと過ごした休日

は夕方体の重さを感じ、何もしていないのに疲労感があります。いまいち自分にあった体の休め方がわかりません。誰か教えて下さい。笑



これから暑さ本番になります。が適度に体を動かし、汗をかき、血行促進しておいしいご飯を食べ、しっかりと睡眠をとり、笑いましょう。そしてこれから来る猛暑に備えて夏バテしない体づくり皆さんでしていきましょう。



豊かな自然に囲まれて

令和5年度 第一回新任職員研修

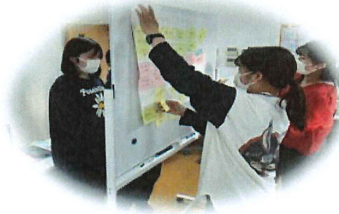
人材を確保することが年々厳しくなっていますが、令和5年度は9人もの新任職員を迎えられることができました。専門的な知識を学校で勉強されてきた方、専門外の学校を卒業された方、社会経験のある方と様々ですが、さざんか会という新たなステージの門を期待と緊張を持ち、くぐってきてくれました。

入職して約2ヶ月経ったとある日に対面式で

新任研修を行いました。コロナ禍ではリモート形式で行っていましたが、今年度はコロナ禍も落ち着いてきたことで、対面式で行うことに踏み切りました。

もちろん、検温、換気等の対策をしっかりと取りながら。

まずはセッション1、挙げられたテーマに対して2ヶ月を振り返って思うことを各々ポストイットに思いつくままに書いてもらい、それを張り出し



て皆さんの思いを知るという取り組みです。「仕事を始めて楽しいと思うこと」、「ほとんどの方が挙げられていたのが「利用者さん、子どもの笑顔」でした。「仕事を始めてから今、頑張っていること」、「今の時点ではわからないことがわからないというくらいに様々な壁にぶつかっているかと思えます、それに対して前向きな意見が沢山挙げられました。その中で一番多かったのが「早寝早起き」でした。「同期のみなさんに伝えたいこと」、「一緒に頑張りたいよ」、「無理せず」、「たくさん笑いましょ」等々、不安な背中を押してくれる沢山の言葉が贈られていました。事業所が別なので顔を合わせず機会は殆どありませんが、独りではないと胸に刻むには十分だったようです。

セッション2「安心して利用者・子どもとの関りを深めるために〜自分でできること、職場でできること」、現場で働くにあたっての基礎的な姿勢、チームアプローチの重要性などを座学にて行いました。支援者各自、育ててきた人生がありそれに基づいた価値観があります。それは

正解でもあり不正解でもあり支援・療育に影響を及ぼすことが多々あります。誤解を恐れずに述べますと我々の支援・療育対象者はこちらの意向にそぐわない行動、発言をされることがあります。思いを伝えても届かないこともよくあります。それに対して我々はどういった思いを描くか、マイナスイメージを描き、ときには「わがまま」などと否定的な感情に支配されてしまふことも。その言葉は効果を生まず自分に跳ね返ってきてマイナスの気持ちを更に深めていってしまい悪循環が生じてしまいます。すべては受容から始まるのですがひとりで片付けられるほど容易ではなく、支援者はみな頭を悩ませているところです。そのような時に重要となるのがチームアプローチです。

我々は独りで仕事をしているのではなく、チームとして向かい合っていることが基本です。同じ相手に対していつもと同じアプローチをしても反応が違うこともあります。時には「なんで!」ではなく近くの職員に「少し変わってもらっていいですか?」と声を掛けましょう。それは支

援・療育の放棄ではありません、チームという輪を利用したテクニックです。それで上手くいったらその後には検証してみましょ、それが支援員としての成長につながっていきます。これは新任職員に限ったことではなく、新任職員とは頻度の差はあるかと思いますが先輩職員、ベテラン職員も同様です。「助けて」の言葉は禁句ではありません。そのためにもお互いに支え合い協力し合えるチームを育てていくことも重要です。

今年度あと2回の新任研修を予定しています。次に会うときにはまた表情が違うのだろうなあと思うと楽しみです。ゆっくりでもいいです、一歩ずつ成長してさざんか会に欠かせない職員になっていくことを期待しています。

カメラハウス 藤藪



さざんかキッズ



今年度からとらのこキッズに加わった仲間を紹介していきます！

- ①名前
- ②好きな事
- ③一言



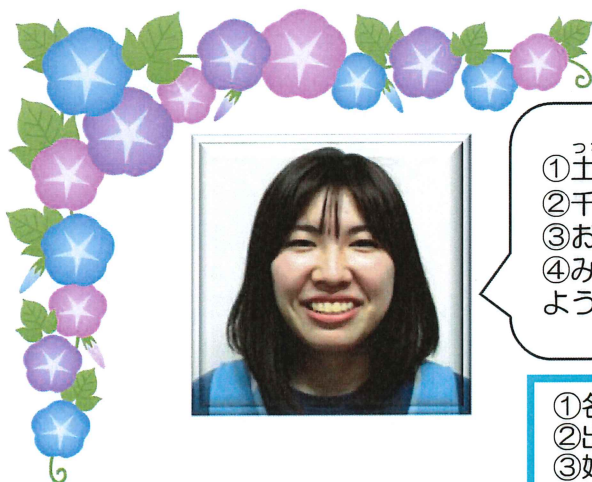
- ①村崎 仁美 (むらさき ひとみ)
- ②美味しい物を食べる事
- ③慣れない事や分からない事ばかりですが、毎日色々な経験をしていきたいです。



- ①吉種 風香 (よしたね ふうか)
- ②人とお話をする事
- ③色々な事に挑戦し、子ども達と一緒に成長していけるように頑張ります。



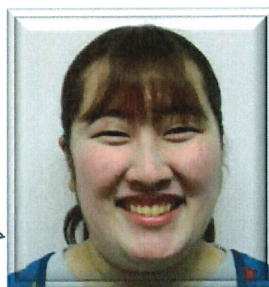
- ①小野 夢加 (おの ゆめか)
- ②沢山寝る事
- ③子ども達が笑顔であふれる生活になるように自分自身も笑顔で頑張ります。



- ①^{つちや}土谷 まどか (まどか先生)
- ②千葉県 流山市
- ③お寿司とアイス
- ④みんなと一緒に笑顔があふれるように精一杯頑張ります！

- ①名前
- ②出身地
- ③好きなもの・こと
- ④ひとこと

- ①^{そえだ}添田 琴乃 (ことの先生)
- ②千葉県 松戸市
- ③アーティストのライブに行くこと
- ④さざんか会・さざんかキッズの1員として、先輩方と一緒に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



今年度は、2名の新しい職員が加わりました☆
みんなで力を合わせて、元氣いっぱい！笑顔いっぱい！
子どもたちの笑顔あふれるさざんかキッズを目指して
がんばっていききたいと思います♡

さざんかキッズ

新人職員紹介★



けいよう

新任職員紹介

けいように新しい職員が入りましたので紹介します！



4月からけいようで働き始めました、木島そよかです。まだまだ覚えることなど色々あり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、私なりに精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。まずは利用者さん全員に名前を覚えてもらうことを目標に、利用者さんとコミュニケーションを取りたいなと思っています。

中庭でピクニック！

4月に中庭でピクニック気分を味わいました。ピニールシートを敷き、お菓子やお茶を用意してのんびりと過ごしました！



カメラリアハウス



5月の土曜開所日に東金の八鶴湖に行ってきました！久しぶりの外出で、みなさんの笑顔がたくさん見られてとても充実した1日となりました😊
少しづつ、外出での活動も増やしていければと職員で思案中です。

4月よりカメラリアハウスに新人職員が来ました！紹介します！



名前 伊藤 馨智
 出身地 千葉県市川市
 趣味 お笑い鑑賞
 ボードゲーム
 一生懸命、頑張っていきたいと思えます。宜しくお願いします！

パウンドケーキの価格改正

原材料高騰の為、パウンドケーキの価格を見直しさせていただきました。宜しくお願い致します。(フレーバー全種類価格同じになりました。)

1切れ 100円 →150円ハ
 1本 800円 →1200円ハ



のまる

今年度、最初のおーぷんは、恒例行事のお花見の様子を紹介したいと思います。

新型コロナウイルスがら類へと移行され、様々な緩和がされましたが、感染症対策に取り組みながら皆さんで楽しみました。屋外でのイベントは久しぶりでしたが、桜の木の下で、暖かい風を感じ、景色を楽しみながら歩く事ができました。

散歩中は、皆さんの明るい笑い声や桜の花びらを拾って眺めている方も居て、この季節しか味わえない貴重な楽しい時間を利用者さんと過ごす事ができました。

来年は、お菓子や飲み物を持参して行き、より楽しめるお花見にしたいと思います。

今年度も夏祭りやクリスマス会等楽しいイベントが盛りだくさんです。また、新型コロナウイルスの影響をみながら、外出事を企画できるようにしていきたいと考えています。

暑い日が続きますが、熱中症等にならない様に体調に気をつけていきたいと思っています。

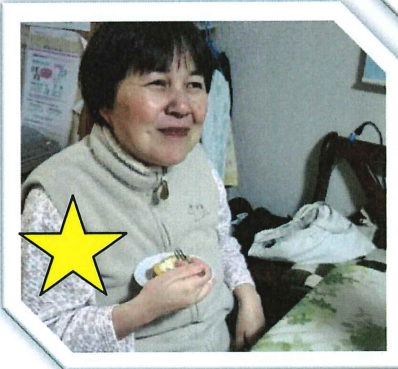


のまのまホームズ

こんにちは、今回のおーぷん夏号は女性ホーム「さざんか荘」の様子をご紹介します。

この日は、3月に誕生日を迎えた方をみなさんでお祝いしました。夕食後のケーキをみなさん笑顔で召し上がっています。みなさんで卓を囲む食事は楽しいですね。

コロナも落ち着きはじめ、以前のような生活に戻る日も近そうですね。今後も感染対策に努めて参ります。



ゆたか福祉苑

こんにちは！ゆたか福祉苑です。

梅雨明けが待ち遠しいこの頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

遅くなりましたが新しいスタッフの紹介をさせていただきます！

いいくらけいすけ
飯倉慶亮



- ① 市川市塩浜
- ② 友達と遊ぶこと
- ③ 失敗は成功の基

たかはしせいいち
高橋誠一



- ① 埼玉県吉川市
- ② ビリヤード
- ③ 人に思いやり寄り添う事

- ① 出身地
- ② マイブーム
- ③ 座右の銘

編集後記

おーぷんを最後までお読みいただきありがとうございます。先日、ホームページでおーぷんをご覧いただいている一般の方から法人本部に「次のおーぷんはまだですか？」とお電話をいただきました。一般の方が楽しみにして下さっているなどは思いもよらず、大変喜ばしい限りです。これからも皆様に発行を心待ちしていただけるような紙面をお届けできるよう努めて参ります。暑や厳しい折、皆様どうぞご自愛くださいませ。(K)

なかむらたまき
中村珠美



- ① 千葉県
- ② メタ認知、認知の歪み
- ③ 無知の知

やまだともひろ
山田朝広



- ① 佐賀県
- ② 映画鑑賞・千葉脱出
- ③ なるようになる。